

## 小学生向けキャリア教育「わたしたちのまち」 出前授業のご案内

2022 年度

公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本

### 「わたしたちのまち」とは

教室でストーリーにそって考えたり活動しながら、わたしたちをとりまく「まち」のなりたちや自分の関わり、「まち」の仕事を楽しく学びます。この体験をきっかけに、自分の身の回りからまち全体を支える仕事に視野を広げ、ご飯を食べたり買い物をしたり、お小遣いをもらうなど、自分たちが普段あたりまえに送っている生活が、みんなが仕事をして支え合っているから可能であることを意識し、将来どのような仕事を通じて社会を支えるか考えるきっかけ作りを目指します。(米国本部のオリジナルプログラム「Our Community」をアクセンチュア株式会社の支援で日本版を作成いたしました)

### 大切にしていること：

1. 「正しい答え」を求めるのではなく、自由な発想・発言を促します。
  2. Teach（教え込む）ではなく Inspire（気づきを引き出す）する体験型学習です。
  3. 自分とまちの繋がりを感じ、好奇心を持って仕事に対する視野を広げるきっかけ作りとなります。
- ※グループでの話し合いや作業が中心ですが、感染状況によっては個人ワークに変更可能です。また、教室への出前授業（限定エリアのみ）、オンライン授業かについては、状況によって対応いたします。

### 対象学年

小学校 3～6 年生（学年によって内容が変わります。下記セッション概要参照）

### スケジュール

遅くとも 1ヶ月前までに、ご希望の日時（連続 2～3 コマ、授業時間数によって内容が変わります）

※平日・土曜日を問いません

### 準備物等（児童は教室、講師はリモート参加のオンライン実施の場合）

- ①教室に 1 台、カメラ、マイクをオンにして Zoom に参加できるデバイスとネット環境
  - ②上記を投影するスクリーン／プロジェクタ／大型モニター、音声を共有するスピーカー
  - ③児童各自に、色鉛筆またはクーピー、ハサミ
  - ④各班に模造紙 1 枚、カラーマッキー 1 セット
  - ⑤各班のリーダー（店長役）をあらかじめ決めていただきます
- 上記以外の教材はジュニア・アチーブメント日本より事前送付
  - 講師が教室へ出向く場合は①と②のスピーカーは不要



### 学校との事前打合せ（オンラインの場合）

当日までに接続テストも兼ねて 1 時間弱の事前オンライン打ち合わせをお願いいたします。

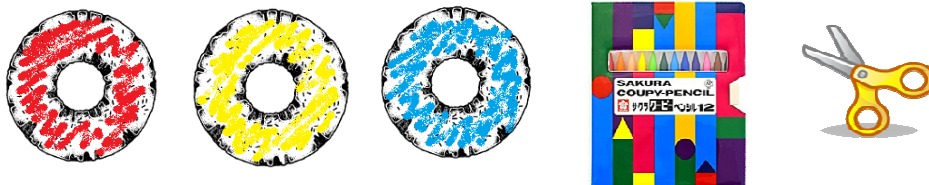
## 各セッションの説明 ※時間や進行の都合により変更されることもあります

### セッション1：「まちにある仕事を探そう」

まちの仕事を挙げて、モノ／サービスを売る仕事や公務員に分類、様々な職業があることを学びます。

### セッション2：「もの作りの仕事をやってみよう：ドーナツ屋さん体験」

紙のドーナツ屋さんでものを作る仕事を体験し、仕事は協力して工夫しながら行うことを体験。高学年では、材料を仕入れ、商品の検品、利益計算するプロセスが加わり、無駄を出さずにより多くの商品を製造することで、売上・コスト・利益の概念を理解します。



### セッション3：「より良いまち作りと税金」

※対象学年が3～4年生の場合や、授業時間が2コマの場合は、「税金とは」のみになります  
自分の住むまちをより良くするために、ケーススタディを用いてどの問題をどのように解決するか投票を行い、選挙と意思決定の重要性を知ります。また、税金とは何か、納める理由とそれがいかに自分たちの生活役立っているのかを理解します。



### セッション4：「ドーナツはなぜ食べられる？」

ドーナツを食べるまでに関わっている様々な仕事・業種を自由に書き出すブレインストーミングです。これまでのセッションを通じて、身の回りのモノやサービスは、多くの大人が仕事をしているから享受できることを理解するためのふりかえり作業となります。児童は、人々が仕事を通じて支えあっていることで、まちや国、世界が成り立っていることに気づき、将来自分がどんな仕事を通じて社会の一員になるか、今から考えながら日常生活を送るきっかけ作りを目指します。

出前授業のお申込み・お問合せ：黒木 [yorikr@ja-japan.org](mailto:yorikr@ja-japan.org) まで

## ご参考

### ▶ ジュニア・アチーブメントについて

米国で発足した世界最大の経済教育団体で、今年設立 100 周年を迎える民間の非営利団体です。日本本部の設立は 1995 年で、教材を導入する学校は全国に拡大しています。社会情勢がいかように変化しようとも、子どもたちが「社会のしくみや経済の働き」を正しく理解し、自分の確たる意志で進路選択・将来設計が行えるよう、基本的資質（主体的に社会に適応できる力）を育むための支援を提供しています。詳しくは、  
ウェブサイト [www.ja-japan.org](http://www.ja-japan.org) をご参照ください。

### ▶ アクセンチュアについて

アクセンチュアは、デジタル、クラウドおよびセキュリティ領域において卓越した能力で世界をリードするプロフェッショナル サービス企業です。40 を超える業界の比類なき知見、経験と専門スキルを組み合わせて、ストラテジー&コンサルティング、インタラクティブ、テクノロジー、オペレーションズサービスを、世界最大の先端テクノロジーセンターとインテリジェントオペレーションセンターのネットワークを活用して提供しています。アクセンチュアは 69 万 9,000 人の社員が、世界 120 カ国以上のお客様に対してサービスを提供しています。アクセンチュアは、変化がもたらす力を受け入れ、お客様、社員、株主、パートナー企業や社会のさらなる価値を創出します。

アクセンチュアの詳細は <http://www.accenture.com/us-en> を、アクセンチュア株式会社の詳細は [www.accenture.com/jp](http://www.accenture.com/jp) をご覧ください。

### ▶ アクセンチュア株式会社の企業市民活動「Skills to Succeed」について

アクセンチュアは、事業活動を通じて培った「人材のスキルを高めるノウハウ」を生かし、Skills to Succeed（スキルによる発展）と呼ぶ全世界共通の社会貢献テーマに取り組んでいます。高い実行力を持った NPO 法人と協力して、国や地域の実情に合わせて選択した「人材スキルの向上」に関わる様々な活動を推進しています。日本においては、グローバル化や少子高齢化、労働人口の減少などの社会の構造的な変化のなかで経済を持続的に発展させていく必要があります。そのためには、働く意欲のある全ての人々に経済活動へ参加機会を提供し、スキル向上によって、個々人がより高いレベルで能力を発揮していくためのスキル向上支援が欠かせないという課題認識のもと、社員の能力を活かして国や地域の経済発展に貢献できる環境づくりを促進しています。将来の日本の国際競争力に関わる人材課題として 8 つのテーマを掲げ、多様な活動を展開しています。その一環テーマの 1 つとして、初等・中等教育課程の子どもたちを対象にした「次世代グローバル人材の育成」に取り組んでいます。